



20251123 猪高の森自然観察会 2025年11月報告書

猪高の森自然観察だより 2025・11月号

開催日時：2025年11月23日（日）

テーマ：落ち葉から木の名前を調べてみよう！

天候：晴れ 気温：最低6.0°C、最高17.8°C

（名古屋に於いて）

参加者：12名（内NACS-J会員4名）

コース予定：森の集会所 → 枕木道 → すり鉢池（一端解散） → 復路 → 森の集会所

この地域では2度咲のキンモクセイが多く見られました。

雨の程度や気温の急激な変化など、今を生きている動植物たちにとっても初めての体験です。

（左上の画像はコマユミの実。生涯学習センターの向かい側の法面にて）

○いろいろな落ち葉を分けていくと…。



カクレミノ…3種類の葉があり、表面ツルツルで皮質のちょっと厚い葉。別名：じゃんけんの葉。（落ち葉のみ）



ヒメコウゾ…毛が生えて、表面ザラザラ。縁をぐるっとめぐる葉脈あり。



ムクノキ…特徴がはっきりしない葉、葉の表面は細かいやすりのよう。



ケヤキ…葉の縁のギザギザ（鋸歯と言う）が独特の形。

葉を拾うときには、周りにも注意して、どんな幹の木が生えていたのか覚えておくと、種類・名前を決めるときのヒントになります。



トウカエデ・・独特の形



ナツヅタ・・これも形で覚えましょう



クリ・・葉の裏側も茶色。鋸歯の先端まで緑色だった跡あり。



サクラ・・葉柄の付近に蜜腺の跡がある。



アベマキ・・葉の裏側は真っ白。鋸歯の先も真っ白。



ソヨゴ・・葉の縁のナミナミの曲がりが特徴。黒いのは急な低温に会うとなるとか。(ソヨゴは常緑樹です。)



タカノツメ・・・3枚で一枚の葉。見事な
黄色に黄葉します。



コナラ・・・中央の3枚は同じ枝から出た隣
同士の葉。大きさも形さえも違っているよ
うに見えます。でも全部コナラの葉です。



エノキ・・・左右非対称で葉柄に近い部分から葉
縁の1/3~1/4くらいは鋸歯がありません。



ヤマナラシ・・・落ちると真っ黒になるとか。
こう見えて、ヤナギの仲間です。※



アカメガシワ・・・葉柄に近い部分に1対
の蜜腺を見つけました。黄葉します。

※緑色の枝に付いている葉を取りそのまま乾燥
させても緑色のままでした。自然に落葉した葉
の中で、何かしらの反応が起こっていると思われ
ます。

○緑地で出会った生き物たち



センダンの葉柄の枝に付いていた部分（何かの顔のよう）



参加者の方々と集めた落ち葉をレジャーシートに広げてみました。

様々な形と色で、見ているだけでも中々に楽しくなります。



棚田で死んでいた状態の良いマムシを冷凍しました。天白区の生物多様性センターに持っていく前に皆で観察し、マムシの代表的な「銭形模様」を確認しました。

次回観察会は1月25日（日）森の集会所集合 9:30～です。

12月の観察会はお休みです。

（雷ナウキャストにて雷発生の危険のある場合は中止）

名東自然倶楽部のHPでは毎月の猪高の森の自然観察会の紹介をしています。

<https://sizen.ciao.jp/index.html>

からご覧になってください。

（右上の自然観察グループをクリックしてください）